



1月6日～8日の2泊3日で、1年生対象に行われた全学部合同の「スキー授業」※希望者のみ。(富良野スキー場にて)

2012年度新学期を迎えるに当たって

学長 新川 詔夫



進級おめでとう。新2年次生は今から本格的に種々の専門科目が開講されるから、身を引き締めて勉学に励む必要がある。専門科目では、その専門領域に特化した数多くの学術専門用語を学習するが、まずこれに慣れなければならない。専門用語はただ暗記するだけでなく、その定義をしっかりと身につける。ここでつまずくとキャッチアップに時間を要することになる。専門用語は専門領域の理解には欠くべからざるものである。2年次は上級学年に比べると比較的時局的・心理的に余裕があるので、この時期に身体と心を鍛えることが望ましい。また、自分の目指しているものが違うと感じ、万が一進路を変更しようとするのであればこの時期までであろう。

新3年次生は専門科目の中でもより深化・細分化された科目を学習する。この年次はほぼ一生を決める時期だと思われる。クラブ活動でも上級生としての貫禄がつく頃である。多くの3年次学生は今年中に成年に達するであろうから、社会の一員としての責任を自覚する年代である。

新4年次生は学部によってはそろそろ卒業を意識し、

資格・国家試験の準備や将来の就職先などを本気で選択する学年である。不景気な昨今だが、就職に関して本学教職員も全力をあげて応援・支援する決意である。あまり大きな理想を追い求めず、なお且つ、安易に妥協せず、一生の仕事場を探求していただきたい。国家試験や資格試験は数人の友人たちとグループで勉強するのも効果があるであろう。

6年制の薬学部・歯学部における新5年次生はCBTを前学年までに終え、各専門領域の臨床分野を学び、さらに臨床実習が始まる。実習では見学ではなく積極的に実際の技術・スキルを習得して欲しい。新6年次生はいよいよ卒業と国家試験を目前とした最終段階である。両学部ともその特殊性と長く学んできたことから、いわゆる「つづしが効かない」状況であり、6年次生は人生における最大力ですべてに当たって欲しい。

新学期は自分自身をリセットするよい機会である。学業のみならずクラブ活動・ボランティア・趣味などを含めて、昨年度にやり残した事、足りなかったことなどをぜひ新年度には解決するよう望む次第である。

CONTENTS

2012年度	1
新学期を迎えるに当たって	
教員役職者・新任教員紹介	2
定年退職される先生からのメッセージ	
2012年度入試結果速報	4
札幌開成高校特別講義	
札幌北高校・札幌南高校インターンシップ	
歯科医療最前線	5
同窓会活動状況	6
私の学生時代	8
OB訪問【歯学部歯学科】	9
授業レポート	10
STUDENTS' ACTIVITIES & EVENTS	11
TOPICS	12
○北海道医療大学アメリカンフットボール部 創部30周年記念式典	
○被災地医療救護活動にあたった 本学歯学部教員等に対する感謝状の贈呈	
○本学学生による 当別町の除雪ボランティア	
EDITOR'S NOTE	